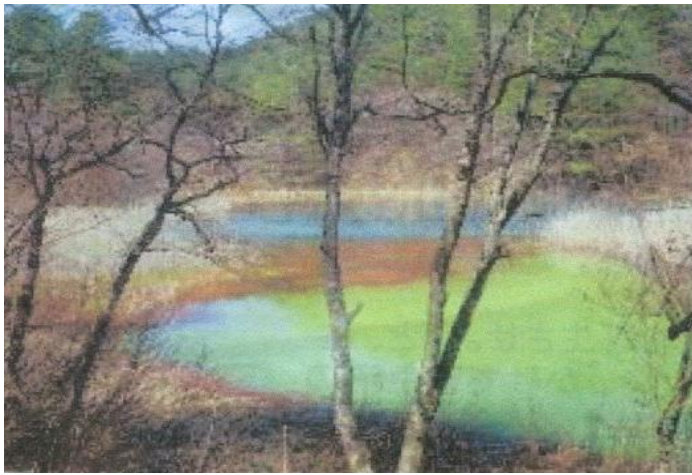


裏磐梯見聞録

2年 K.N.

課題

まず、僕は裏磐梯へ行って何を知りたかったのかというと五色沼について調べ学習をしていたので五色沼の水質や色の変化について実際に見学してもっと知りたいと思いました。

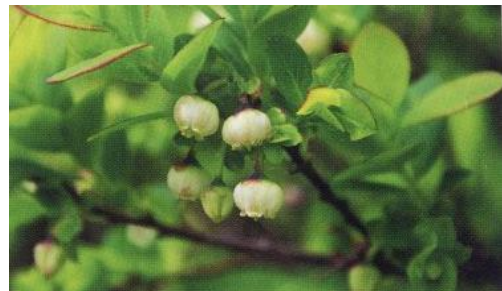


そして、僕がどうしても見たかったものは五色沼湖沼群の中でも1つの沼でいくつもの色がある最も五色沼らしい沼「深泥沼」です。季節によっても色の数は変化しますが、単純に数えて青、赤、緑の3色で、細かく見れば五色程度の色の数があり、世にも奇妙な沼です。

👉 深泥沼

高山植物を調べよう！

1日目の半日コースでは、ネイチャーガイドの二階堂幹夫先生とご一緒して「高山植物を調べよう！」というコーステーマをもとに浄土平をめぐり歩きました。浄土平は僕達が住んでいる布佐とは全く違った場所でもの静かでした。歩いていると辺りにはたくさんの山々がそびえ立っていて、小規模の噴火で煙が出ている山もいくつもありました。その辺りは昔噴火によってとんできた岩がゴロゴロ転がっていました。少し歩いていると、どこかの温泉のようなニオイがしてきました。「なんだろう」と思っていたら、自分達が歩いている所に小さい黄色の粒々を発見しました。二階堂先生によるとそれは「硫黄の結晶」というもので、沸点が低く、75℃で燃えるそうです。すぐ持ち帰りたかってけれど、持ち帰ってしまうと自然破壊になってしまうので写真に納めておきました。さらに道を進んでいくと、白くて小さい球状の植物を発見しました。二階堂先生の許可



をとって、その実を手にとって臭いを嗅いでみました。その臭いに驚きました。サロンパスのような消毒液のような臭いがしてなかなか強烈でした。その謎の実は「シラタマノキ」という名前で見たい目は結構きれいでした。もう少し道を進んでいくと、今度は赤い球状の実がついている植物がありました。でもその実は「シラタマノキ」ほど数は多くなかったです。名前は「アカモノ」ですごくおいしい実で動物に食べられて数が減っているそうです。ちょっと歩いているとまた球状の実がありました。でも今度は黒っぽい実でした。



「ガンコウラン」という実でした。また「シラタマノキ」があったと思ったら違う植物でした。見た目は白いのですが、なぜか「クロマメノキ」という名前がついています。ここまで歩いてきて、秋の浄土平にはたくさんの球状の実が付いている植物があることがわかりました。

浄土平には他にもバラ科のナナカマドやマルバシモツケ、ニシキギ科のクロヅルなど知らなかった植物がたくさん生えているのを見れてよかったです。浄土平は高山なので天候が変わりやすく、おまけに足場は自然ゴツゴツとした石でいっぱい、何度も転びそうになりました。よくこんな環境で植物が生きていけるなと思い、高山植物の生命力に感心しました。



常に強い風の吹く浄土平では同じ方向から風が吹くため、たくさんの松は風が吹いている方は葉が育たなくなっていたりしていたので山の天候のすごさを実感しました。山のふもとの方では水が所々流れていました。

その水は強酸性であるため、水が流れている所は地面が強酸性により、赤くなっていた所がいくつもあって見ていて面白かったです。逆に浄土平の山頂の方はふもとより全然寒くて風も強かったです。気付けば雲の中を自分達が歩いていました。

山頂は沼があって何か動いているものがあるなと思って近づいてみたら、それはカモでした。なんでそんな所にカモが生きて



いるんだ！と思っていたらカモ自ら近づいてきました。

エサでも欲しいのかな？と思っていたら二階堂先生が「このカモ達は人間のエサを食べて生きているんだよ」とおっしゃっていたので、なんだか複雑な気持ちになりました。

こうして1日目の半日コースの体験学習が終わりました。珍しい植物もたくさん見られているいろいろなことがわかりました。充実したいい経験がたくさんできてとても良かったです。本当に行って良かったなと思いました。

五色沼の環境と自然

2日目は「五色沼の環境と自然」というコーステーマをもとに活動していきました。まず、五色沼の周辺を歩く前に、枯れていた見栄えの悪い木が立っていました。一見、必要のない木だから切り倒せばいいのに・・・と思いました。しかし、よく見るとその木には穴が開いていました。五十嵐先生によると、その穴はキツツキが穴を開けた巣だそうです。だから、枯れて見栄えの悪い木でも、鳥や虫の巣となるので簡単に切り倒してはいけないということを教えてくれました。

本格的に五色沼の周辺にいくと、森のように木々がたくさん生い茂っていました。五色沼は沼によって違いますが、鉱物のアロフェンの白い色が色の変化の原因ということがわかりました。そして、この五色沼の周辺の森林は毒キノコやハチ、触れるとかぶれたりする危険な動植物がいて森林は気を緩めてはいけないなと思いました。森林の真ん中辺りに行くと、特別自然保護区域という場所で森林に生えている植物や虫などを持ち帰ると50万円以下の罰金という厳しいシステムでした。でも、それだけこの美しき裏磐梯の自然を守りたいという想いが強いのだなと思いました。

五色沼の周辺にも見たことのない不思議な植物でいっぱい、まるでどこかのジャングルをさまよっているようでした。約130年前の磐梯山の噴火で落ちてきた岩がゴロゴロありました。こんな岩が空から落ちてきたら大変だろうなと思うほど大きな岩もありました。

肝心の五色沼もとてもたくさん見られました。どうしても見たかった深泥沼も見られましたし、それ以外にも大きくて雄大な毘沙門沼などたくさんの沼が見られてとても感激でした。やっぱり本物の生で見る五色沼は違うなと思いました。

2日目の1日コースで帰る時には、都会には絶対いないエゾゼミがいました。エゾゼミはセミの胴体に黄色のMみたいな文字がついています。

あと、五十嵐先生は、帰りにどんぐりのボウシで笛を吹くという技を見せてくれました。僕もそれを練習しましたが、全くできませんでした。あと、桧原湖を見ながらのお弁当は最高でした。

自然体験学習を通して

五色沼周辺を実際に探索して五色沼の色の特徴はアロフェンという鉱物によるものだということが確認できましたし、太陽の位置や気候によって色が変化することも知ることができました。

以前は自然に関してあまり関心なかった僕ですが、今回の自然体験学習を通して自然を守りたいという想いが強まりました。

だから、これから何十年、何百年と裏磐梯のような美しい自然が壊されてしまわないように自然を大切に生きていきたいと思います。

